

授業科目 比較芸術研究 I	単位 2 単位
授業担当者 福岡正太	授業期間 前期
授業の題目と概要 「伝統芸能の映像記録」 伝統芸能の映像記録について、民博における映像制作の企画立案、取材コーディネート、取材実施、情報整備、編集、試写などの一連の過程に実践的にかかわりながら、映像の制作や資料の扱い方、芸能の記録を支える理論と方法論を学ぶ。ユネスコの無形文化遺産保護条約に見られるように、伝統芸能の保護と振興に世界的な関心が向けられ、伝統芸能を映像で記録することが盛んに行われている。こうした試みを民族音楽学・文化人類学の視点から批判的に検討し、望ましい映像記録のあり方について考察することも行いたい。	
授業の内容と計画 1. 教員が実施する映像制作プロジェクトにオブザーバーとして参加し、制作の各段階において教員及び映像制作者とのディスカッションを行う。 2. 芸能を映像で記録した作品を視聴し、教員とディスカッションを行う。	
使用する参考書、参考論文等 各段階において適宜指示する。	
成績評価基準 ディスカッションとレポートにより評価する。自分で映像作品を制作する場合は、レポートの代わりに映像作品で評価を行う。	
その他の留意事項	